

【読書活動の充実を】

子どもの「読書離れ」、「活字離れ」が指摘されるようになってから久しく、近年では本や新聞を読む大人も減っているそうです。読書離れは子どもだけではなく大人の問題でもあるとも言われています。中学生、高校生になると部活動や受験勉強が忙しくなったり、スマホが手放せなかったりと読書量がぐっと減る傾向にあります。マンガでさえも手にとって読むことがなくなってきているのではないのでしょうか。そんな時代の中、小学校の内に読書習慣をつけておくことがきわめて重要なことであると考えます。

「読書が嫌い」という子どもたちに聞くと「読書はつらいこと」「楽しくない」という声を聞きます。そうした子は読書が勉強の延長線上にあったり、無理矢理読まされていると思っていたりしていることが多いようです。読書は娯楽であり、エンタメであればよいと思います。まずは、子どもの興味を尊重し、本の魅力を知る経験をたくさんしてほしいです。ゲームやネットをする時間はあるけど読書をする時間が無いというのは、本の魅力を知らないからではないのでしょうか。

みなみ小学校では朝の活動（月曜・水曜）に読書の時間を設けており、木曜日は読み聞かせ（せせらぎタイム）も行っています。また、休み時間の貸し出し時間には多くの児童が図書館を訪れ、自分の気に入った本を借りていきます。

（今年度の貸し出し目標数は8000冊です。 7月9日時点2635冊）

読書活動は知識や情報を増やすだけでなく、読解力・想像力・表現力を培い、さらに感性や人間性を磨くことができます。今年も暑さが厳しく外遊びがなかなかできない夏休みになりそうです。そんな時だからこそたくさんの本と出会い、本の魅力を知ってほしいと思います。ぜひご家庭でも読書に関心を持つ取り組みをされてみてはいかがでしょうか。

【防犯教室】

幼稚園と合同で「防犯教室」を行いました。出雲警察署や朝山駐在所、スクールガードリーダー、子ども安全センターと様々な方に来ていただきました。まず、DVDを視聴して、知らない人とは距離をとることを学びました。その後は知らない人が話しかけてきた時の対応について実際に5、6年生の代表児童がロールプレイを行い、次の確認を全員で行いました。

- ・きちんとマナーよく挨拶をすることは基本
- ・知らない人とは距離をとること、きっぱりと断ることが大切
- ・危険なところには近づかない

近年は、簡単にネットで見知らぬ人物とコミュニケーションがとれる時代です。小学生が被害にあう事案が県内でも起きています。今回の防犯教室で学んだことは現在のネット社会でも当てはまることが多いのではないのでしょうか。

【歯科学習】

毎年、歯科衛生士さんをお招きし全校で歯磨きの学習を行っています。各学年に応じて「第一大臼歯・前歯の役割や大切さ、磨き方」「噛むことの大切さ」など学習内容を変えて伝えていただきました。また、染めだしをして、自分の歯の磨き残しのチェックをし

す。磨いているようで案外磨き残しがあることにびっくりする児童もいました。生え変わったぴかぴかの永久歯を大事に守っていきたいですね。

【水泳学習】

みなみ小学校では低学年、中学年、高学年の合同で水泳学習を行います。1, 2年生はまずは水になれることからスタートです。バタ足・水のかげあい、水中じゃんけん、宝探しなどをしながら水に顔をつけたりもぐったりする感覚を身につけます。中学年からは「けのびバタ足」「面かぶりクロール」「クロール」「いろいろな泳法」が目標です。どの児童も自分の目標をもってがんばっています。

【出雲市内めぐり 3年生】

「給食センター」「大社漁港」「出雲市役所」に出かけました。社会科の時間にそれぞれの場所への質問をみんなで考え、見学の準備をしてきました。大量で衛生的な調理の様子、たくさんの種類の魚やとても大きな魚とせりの様子、広い庁舎や様々の部署での仕事の様子を間近で見せていただきました。どの場所でも質問の一つ一つに分かりやすくていねいに答えていただきました。

【町探検 2年生】

校区のいろいろな場所の見学をする「町たんけん」がスタートしました。今回、ご協力いただいたのは「朝山コミセン」「朝山郵便局」「セブソイレブン」「朝山駐在所」です。中の様子を見せてもらったり質問したりし、仕事の様子や働いている方の思いを感じることができました。学習したことはそれぞれの場所ごとにまとめていきました。

【環境学習 4年生】

川の水温やPH・酸素量を測ったり、生息する生き物を集め、仲間わけをし、種類と数を確認したりすることで神戸川の水質の状態を判定することができます。グループで協力して神戸川の調査活動した児童は神戸川にいろいろなゴミがあることに気づきました。そこから実際にどんなゴミがどれだけあるのか調べてみようということとなり小学校のすぐ横の土手から川べり一体のゴミを拾って集め、種類ごとに分類しました。エネルギーセンター・クリーンプラザでも大量のゴミ、不燃ごみがどのように処理・リサイクルされているのか見学しました。この現状をどう考え、よりよくしていくために何ができるか考えながら学習を進めまとめていきます。

【幼稚園 カレーパーティー/まめな教室】

お世話になった方を招待し、ありがたい気持ちを伝えようと準備をしてきました。招待状、飾り、メニュー表などみんなで力と気持ちを合わせ作りました。地域、保護者の皆さまの協力のおかげでとてもおいしいカレーができました。

前回のまめな教室で「おじいちゃん、おばあちゃんがにこにこしてくれた」といううれしい経験から、また参加させてもらいました。もみもみマッサージという曲に合わせて一人一人にマッサージもしました。今後も地域の方との触れ合いを大切にしていきたいと思えます。

【朝山幼稚園 PTA 研修】

令和6年度、7年度の出雲市同和教育研究指定事業の地区指定を受け、幼稚園、小学校

ともに朝山地区人権・同和教育推進協議会と連携を図りながら活動を進めていきます。7月12日は人権同和政策課の同和教育啓発指導員春日正信さんをお招きしPTA研修を行いました。「家庭の中の人権」をテーマにした研修でしたが、気づくこと感じることの大切さをあらためて考えさせられました。保護者の皆さんのグループディスカッションでは皆さんが積極的に発言されており、「自分の思いを自分の言葉で安心して語れること」が自然にできている保護者の皆さんの雰囲気素晴らしさを感じました。「思い込みや偏見を捨てたら世界はもっと広がる」という言葉がとても印象に残りました。いくつになっても学びは大切であり、学び続けたいといけなと感じた研修会となりました。

【学習公開日・救急救命法講習・引き渡し訓練】

学習公開日にはたくさんの保護者の方々にご来校いただき、子どもたちのがんばりを見ていただきました。ありがとうございました。また、その後に行われた救急救命法の講習にもたくさんの保護者の皆さんにご参加いただき、5、6年生も保護者と一緒にしっかりと実践できました。

この日は引き渡し訓練も行いました。今回は大雨を想定し、みなみ小と朝山幼稚園の全児童園児が安全にご家族に引き渡せるよう訓練を計画しましたが実際の災害時には訓練と違う状況も多く起こります。そうした状況時には今回の訓練とは違う形での引き渡し方になることもありますのでその都度メールをご確認ください。

先週の警報級の大雨のような異常気象の影響は今後も続くと考えられます。各ご家庭内での連絡、各登校班、地区内での連絡がスムーズかどうか再度ご確認くださいとよいと思われまます。子どもたちの安心・安全のために地域、家庭、学校がしっかりと連携・協力していきましょう。

【こんな夏休みにしてほしい】終業式に次のような話を子どもたちにします。

- ① **じぶんからやってみよう** たくさんの人とかかわりを持ち「じぶんからあいさつ、じぶんから思いをことばでつたえる」場面がたくさんあるといいね
- ② **自分の好きなこと得意なことを見つける夏休み** 好きなこと、やりたいこと、得意なことは何ですか？自分の強みをたくさん発見できる夏休みになるといいですね。
- ③ **自分から取り組み続ける夏休み** 自分からお手伝い、自分から勉強、自分で起きる、自分でやる（ネット、ゲーム）人から言われる前に自分から進んでできること増やしてみよう。そして、自分でできたことを続ける体験をしてほしいです。

「主体的で深い学び」「GIGA スクール構想」「個別最適な学び」等、令和の日本型学校教育は子どもに「やらせる」学習から子どもが「自ら」学ぶ『自律型学習』への変換を求めています。大人に頼らなくても学び続ける自律型学習スタイルは変化の激しい社会で生涯学び続けていくために必要な力とされています。ただ、自律的に学ぶためにはまずめざすべき目的や目標が必要となります。「自分は何を学びたいのか」、「どんな力をつけたいのか」は子どもだけで考えていくのは難しい作業です。ですから大人が子どもに投げかけ、ともに考え、子どもたちが目的や目標を意識できるように導いていくことが大切となります。

発達段階に応じて、声のかけ方、やる気の持たせ方など様々ですが、各学級で子どもたちに説明し、計画を立て、励ましていきます。各ご家庭でも保護者の願いも十分にお伝えいただき、充実した夏休みになるよう導いていただけたらと思います。

「夏休みは〇〇に挑戦するぞ!」「～ができるようになりたい!」そんな思いを持つ子どもたちが多くなることを願っています。